

## 令和6年度 技術・家庭〔家庭分野〕 &lt;第1学年&gt; 年間指導計画と評価規準

## 技術・家庭 教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
- (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 家庭分野の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

## 第1学年年間指導計画（評価規準）

★ 知は、知識・技能

思は、思考・判断・表現

主は、主体的に学習に取り組む態度

月	単元名	指導内容	評価規準	評価方法
4	ガイダンス <1時間>	1 家庭分野ガイダンス	主 ○生活行為に必要なものについて考えている。 ○困りごとを解決するために必要なことを考えている。 ○3年間の家庭科の授業で、自分が身につけたいことや、知りたいことを書いている。	定期考査 授業ノート 技家ノート 授業観察
5		A 家族・家庭生活 <4時間>		
6	B 衣食住の生活 （食生活） <31時間>	1 食事の役割と食習慣	知 ○食品や調理器具の安全と衛生に留意した取り扱いを理解している。 ○香りと味は関係が深いことを実験から理解し、おいしさや五感のかかわりについて説明をすることができる。 ○地域で生産されている食品にはどのようなものがあり、その食品がどのような料理に使われているのか考えることができる。 ○自分の活動と食生活に照らし合わせて、日常のエネルギーや栄養素の摂取について理解している。	定期考査 作品 授業ノート 技家ノート 授業観察 提出物
7		2 中学生に必要な栄養を満たす食事		

	B 衣食住の生活 (食生活)	2 中学生に必要な栄養を 満たす食事	志	○「おいしさ」についてこれまでの学びを総合的に振り返り、 自分の生活の中での活用について考え、まとめることができる。 ○調理にあったつけあわせを工夫できる。 ○調理の手順を見直し、課題を改善しようと工夫している。 ○調理の手順や時間配分を考えて、実習計画を工夫している。 ○行事食と行事のかかわり、郷土料理の意義を理解し、自 分の食生活に取り入れようとしている。	
9					
10		3 さまざまな食品とその 選択			
11		4 日常食の調理	主	○日常食の調理に関心を持っている。 ○計画と調理作業を振り返り、今後の課題をまとめること ができる。 ○地域の食材を利用する意義に気づき、日常の食生活に取り 入れようとする意識がある。 ○栄養素とそのはたらきについて、関心をもって調べよう としている。 ○自分の食事や食生活と比較し、自分の食生活の課題を考え ようとしている。 ○持続可能な食生活の実現に向けて、食生活について、課 題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善した りして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。	
12					
1		5 地域の食文化  <生活の課題と実践>			
2		6 献立作り			
3		7 持続可能な食生活をめ ざして			